

年 組 名前：

問1

やまなしがくいんしょう
山梨学院小が、

しゃかい かだい かいけつ む
社会課題の解決に向け

きぎょう
「起業プランコンクール」を

ひら りゆう こた
開いた理由を教えてください。

.....

.....

.....

.....

問2

きんしょう えら
金賞に選ばれたプランは、

かだい
どのような課題から、

こうそう
どのように構想して、

ていあん
なにを提案しましたか。

かだい
課題：.....

こうそう
構想：.....

ていあん
提案：.....

いま き しゃかい かだい もんだい こた
問3 今、あなたが気になっている社会課題(問題)を教えてください。

.....

社会課題解決へ起業案



小学生がビジネスプランのアイデアを競ったコンクール
＝甲府・山梨学院小



QRコードから動画を見られます

山梨学院小5年生 18チーム競う

山梨学院小は10月29日、同校で5年生による「起業プランコンクール」を開いた。食料、社会課題に着目したビジネスプランを発表し、アイデアや計画性、プレゼンテーションなどの出来栄を競った。

審査員を務めた。児童や保護者の投票で選ばれた8チームが決勝に進出。手芸キットをガチャガチャで提供するサイビスや、人工知能(AI)で自分好みのお菓子をオーダーできる菓子店などのプランを披露した。

最高賞の金賞に選ばれたのは、規格外野菜を使ったレストランを提案した「ボディー・カインド・レストラン」(飯島花さん、土屋アヤメさん、倉戸杏さん、小野蒼海さん)。給食の食べ残しなどから「野菜嫌い」「食品ロス」という身近な課題に着目し、食べやすい野菜レシピを実際にするなど具体的に構想した点などが評価された。審査委員長を務めた高野社長は「今日の経験を生かし、これから自分はどう生きたいかを思い描き、実現していくしてほしい」と激励した。

〈桑原久美子〉

(2025年11月5日付 山梨日日新聞15面)